



お江戸舟遊び瓦版 1088号

水彩都市江東 ころこ美しい日本の再生 安全・安心まちづくり

お江戸観光エコシティ・お江戸舟遊びの会 江東区千田 13-10

都民の目でチェック ウォッチングバスツアー

都市再生・東京大改造の現場

日時：3月8日

所：国立競技場から臨海部開発地域

主催：市民と野党の共闘で都政転換 呼びかけ人会議

① 東京オリンピック・負の遺産

快晴の中、千駄ヶ谷駅に集合し、最初にオリンピックのメインスタジアム**新国立競技場**に。財界、政府、小池都知事は、故安倍首相が打ち出した国家戦略特区構想と合わせ、2020年東京オリンピックを**東京大改造**を加速させる絶好の好機ととらえ、競技施設や選手村だけではなく、オリンピック名目の再開発も選手村、晴海の超高層マンション群、国立競技場建て替えを奇貨とした明治公園、霞ヶ丘都営住宅の廃止による日本スポーツ振興センターと日本青年館の2棟の**超高層ビル建設**を強行、またポストオリンピックとして第2期の**神宮外苑再開発**、**東京駅エリア**や**築地市場再開発**を進める。



東京体育館メインアリーナ



日本オリンピックミュージアム



日本青年館とスポー振興センター



明治神宮再開発：明治神宮野球場



秩父宮ラグビー場



八重洲口地区再開発



東京駅丸の内地区再開発



② 晴海選手村再開発・海の森公園

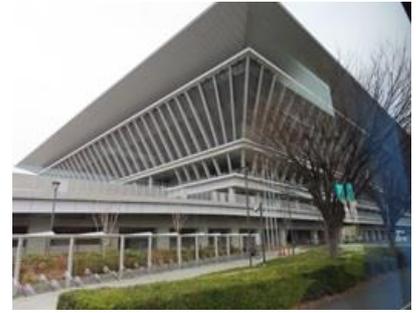
晴海再開発のために選手村をつくり、IOCや開発企業のために海の森水上競技場、辰巳アクアティックセンターをつくった感。海の森水上競技場は全く活用されていない。金儲けの工事のための工事ではないか？



晴海フラッグ



海の森水上競技場



辰巳アクアティックス

③ 外苑再開発計画：

再開発は、三井不動産、明治神宮、日本スポーツ振興センター、伊藤忠商事による民間事業で、明治以降に植えられた樹木が生い茂る外苑地区。神宮球場や秩父宮ラグビー場を建て替え、高さ200m超の超高層ビル2棟も新築する。新たに837本を植樹する一方、700本以上の歴史的な高木を伐採する計画である。2004年明治神宮が神社本庁離脱から急浮上した推定1兆円以上の開発だ。



④ 住生活・環境破壊の特定整備路線

都市計画道路・特定整備路線（28路線・25km、事業費3000億円）は、終戦直後、戦災復興基本方針（1946年閣議決定）に基づいて戦災復興院告示で計画が決定され、その後70年を超え、沿道の宅地化が進み、各地で商店街などの商業地が形成されるなど、地域と住民にとって道路の必要性が認められず、各地で反対運動が巻き起こり、事実上の廃止路線になっていたものだ。

石原都知事のもとでオリンピックを名目に事業化され、住宅街での立退き、ハッピーロード大山などの商店街潰し、赤羽西自然公園の環境破壊などから都民的反対運動が起こり用地の取得は遅々として進まず、2020年度末の計画終了時期には1路線しか完成していない。現在、計画延長し、

小池都知事の下で毎年400億円もの税金がつぎ込まれているが、都庁の中からも疑問や批判の声が挙げられている。小池都知事は都民に挑戦するかのようになり、2024年度予算で都職員による地上げ部隊＝「機動取得推進課」を、40億円を超える税金を投じて設置した。



大山ハッピーロード商店街潰し：アーケード分断



赤羽西自然公園・道路で環境破壊

所感： 3・11、能登半島地震、八潮道路陥没等など、災害・老朽化大国日本は、再開発ではなく、防災対策・老朽化対策・少子高齢化対策・食糧自給率アップに真摯に取り組まなければならない。世界からの輸入で衣食住が賄える時代ではなくなっている。SDGs精神で！（文責 中瀬）